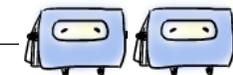


大竹市立図書館ティーンズ便り第 26号

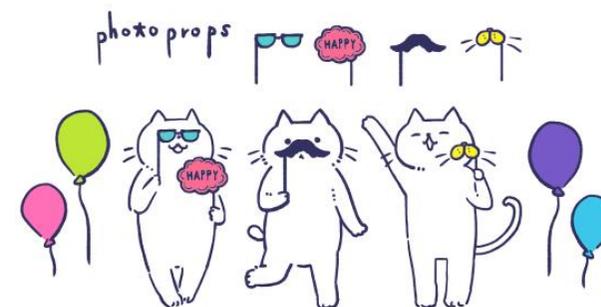
〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 ☎ 0827-52-5338



■利用案内

- ・開館時間 10:00~18:00 (火~土) / 9:00~17:00 (日)
 - ・個人貸出 図書1人10冊 (内DVD・CD資料2点)
 - ・貸出期間 2週間
 - ・休館日 月曜日 (祝日の時は翌日も)・祝日・年末年始・特別整理期間
毎月末 (ただし、土・日・月・祝の時は直前の金曜日)
- ホームページアドレス (蔵書検索もできます) <http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

スマートフォンをお持ちの方は
こちらのQRコードからホーム
ページにアクセスできます。



大竹市立図書館には、ティーンズコーナ
ーがあるのを知っていますか？
ティーンズコーナーでは、ティーン
ズ向けの本の展示をしています。春・
夏・秋・冬の年4回、入替えている
のでチェックしてみてください。

☆『秋』(9・10・11月の展示)

テーマは、

文化部系の熱い青春！



文化に情熱を傾けている人たちを応援します！

1冊紹介♪

『14番目の金魚』 ジェニファー・L.ホルム/作

講談社 [933 木]

11歳(さい)のエリーは、不老不死薬のクラゲを手に入れた天才科学者と出会う。病気を予防し、若返りの薬までうみだす“世界を変える力”をもった科学者にあこがれはじめるエリー。でも、みんなが永遠の命を手に入れたら世の中はどうなっちゃうの…?「生きるってなんだろう?」「死ぬってなんだろう?」を考える物語。【化学部】



新刊案内

新刊コーナーにあるよ。

貸出し中の本は予約することができます。
HP・お電話でもできますので、詳しくは
カウンターまでおたずねください。

『哲学するってどんなこと?』

金杉 武司/著 筑摩書房 [Y104 カ]

哲学とは、私たちの生の土台や前提となっている基本的なものごとの本質が何なのかを論理的に考えること。でも、そもそも本質とは?論理的に考えるって?多くの謎に満ちた世界に向き合い、問題を筋道立てて解き明かしていくための実践的な方法を紹介します。理解を深めるための練習問題も掲載

『中高生のスポーツハローワーク』

学研プラス [Y780 千]

スポーツが大好きで、スポーツに関係する仕事をしたいと考えている少年・少女に向けて、スポーツトレーナーやプロ野球の球団職員など、スポーツの現場で働いている15人のインタビューと、70以上の職種を紹介。「スポーツと関わる仕事」の内容や、高校卒業後の進路と今から準備しておくといいことも説明します。

『トラからぬすんだ物語』

テェ・ケラー/作 評論社 [933 ケ]

ママとお姉ちゃんと三人で、ハルモニ(おばあちゃん)の町に引っ越(こ)してきたリリー。道に寝(ね)そべっているトラを見てびっくりするが、トラが見えるのは、どうやらリリーだけらしい。トラは、ハルモニが昔ぬすんだものを取り返しにきた、と言う。どうにかしてハルモニを守りたいリリーが考えついたことは…!?

【実用書】

『障害者ってだれのこと?』

荒井 裕樹/著 平凡社 [Y369 ア]

『漢字が日本語になるまで』

円満字 二郎/著 筑摩書房 [Y811 エ]

【文芸書】

『恋愛問題は止まらない』

吉野 万理子/作 小学館 [Y913 ヨ]

『目で見ることばで話をさせて』

アン・クレア・レゾット/作 岩波書店 [Y933 レ]

*大竹市立図書館のホームページの中にティーンズコーナーがあります。

こっちものぞいてみてね。

展示本リスト

*[]は図書館の請求記号です。

『僕は上手にしゃべれない』

椎野 直弥/著

ポプラ社 [Y913 シ]

吃音の悩みをかかえ、中学に入学した悠太。入学式の日には、当然自己紹介があるってのはわかっていたが…。著者自身の経験をもとに、吃音に苦しむ少年の葛藤と希望を描いた胸を打つ物語。【放送部】

『ぼくがスカートをはく日』

エイミ・ポロンスキー/著

学研プラス [Y933 ホ]

今度、学校で演劇のオーディションが開催される。ぼくは、女神の役をやりたい。ぼくは、ただ、本物の女の子になりたい。自分らしく生きる道を選択した、トランスジェンダーの少年の姿を描く。

『無限の中心で』

まはら 三桃/著 講談社

[Y913 マ]

数学オリンピックに挑戦する数学研究部を取材することになった、文系少女のとわ。部室では3人の部員が1枚のプリントを前にして興奮していた。なんでも、数学の難問を置いておくと誰かが解答した状態になっているといい…。

『ラジオラジオラジオ!』

加藤 千恵/著

河出書房新社 [Y913 カ]

高校3年生のカナとトモは、週に1度、地元ラジオ局で番組を持っている。進路決定を前にして、2人の未来への夢はすれ違い始めて…。せつなさ120%の青春小説。

『ブロードキャスト』

湊 かなえ/著

KADOKAWA [Y913 ミ]

陸上の名門・青海学院高校に入学した圭祐だが、中学の同級生に誘われ放送部に入部することに。陸上への未練を感じつつも、その面白さに目覚めていき…。

『わたしの空と五・七・五』

森笠 こみち/作

講談社 [Y913 モ]

「しゃべりは苦手でもペンをもったら本音をぶちまけられる者よ!文芸部に入るべし」と書かれたチラシを見た中1の空良(そら)。とりあえず見学だけでもと考えて訪れた文芸部の部室で、「俳句」と出会い…。なぜか文芸部に入ってしまった空良の、春風のようにさわやかな物語。

『詩人になりたいわたしX』

エリザベス・アセヴェド/作

小学館 [Y933 ア]

ハーレムで暮らす15歳の少女・シオマラは、厳しい母親に猛反発していたが、高校のポエトリー・スラム部で詩のパフォーマンスを知り、自己表現の世界にのめり込んでいく。全編を詩で描く、家族と恋と友情の物語。

『Fができない』

升井 純子/作

文研出版 [Y913 マ]

直大にとって中学のスタートは大きな壁。そんな彼に「Fができるようになったら、教えてやるよ」と7歳年上の兄がギターをくれた。ギターコードを覚え始めると、クラスのカイトが「バンドできんじゃない」と言いだして…。

『ぼくたち負け組クラブ』

アンドリュー・クレメンツ/著

[933 ク] 講談社

6年生のアレックは、本が大好き。誰にも邪魔されずに本を読む読書クラブを作ろうと考え、みんなが入りたくなるように「負け組クラブ」という名前にした。けれど、次々と仲間が増え、アレックの心にも変化が…。

他にもこんな本があります♪

- * 『ABC!』 市川 朝久子/著 講談社 [Y913 イ]
- * 『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』 こまつ あやこ/著 講談社 [Y913 コ]
- * 『スケッチブック』 ちば るりこ/作 学研プラス [913 チ]
- * 『ふたりの文化祭』 藤野 恵美/著 KADOKAWA [Y913 ナ]
- * 『透明な耳。』 村本 大志/著 双葉社 [Y913 ム]
- * 『青春サプリ。』 オザワ部長/文 ポプラ社 [Y375 セ]
- * 『部活でスキルアップ!演劇上達バイブル』 杉山 純じ/監修 メイツ出版 [Y771 フ]